一般社団法人日本医療薬学会

2021年度第4回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2021年9月14日（火） 13時30分 ～ 17時00分

二．開催場所： インターネットを介したウェブ会議 （Zoomを利用）

三．出席者

会 頭： 奥田 真弘

副会頭： 武田 泰生、山田 安彦

理 事： 石井 伊都子、石澤 啓介、大谷 壽一、吉光寺 敏泰、崔 吉道、齋藤 秀之、齋藤 嘉朗、鹿村 恵明、寺田 智祐、富岡 佳久、村木 優一、百瀬 泰行、矢野 育子

監 事： 大森 栄、佐々木 均、望月 眞弓

陪席者

顧 問： 木平 健治、安原 眞人、和田 一夫

事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子、針生 裕子、田中 結寿、大湊 宏味

欠席者

副会頭： 山本 康次郎

理 事： 出石 啓治、河原 昌美、田﨑 嘉一

顧 問： 山本 信夫、五十嵐 邦彦

四．議長： 奥田 真弘

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 15 名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており､適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1．2021年度第3回定例理事会議事録の確認

議長より、本年7月27日に開催された2021年度第3回定例理事会の議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

2．協議事項

(1)事務局会議室に隣接する日病薬会議室の取り扱い

議長より、前回の理事会で協議された事務局会議室に隣接する日病薬会議室の賃借契約の解除に係る申し入れに関して、日病薬より詳細な提案があったことが説明された。具体的には、日病薬から賃借料（坪単価）を変更することなく賃借権を本学会に譲渡することを賃貸人に交渉すること、敷金及び敷金返還請求権を本学会に譲渡することについて賃貸人の承諾を得ること、日病薬が原状回復費用を

負担すること、賃借料及び共益費に相当する額を賃借権の譲渡後も一定期間日病薬が負担すること、ただし負担期間の期限については今後協議を行って決定することの５つの提案事項が示された。協議した結果、会議室の活用方法のみならず事務局体制のあり方も含めた検討を行うこととなった。

(2) 2022 年度事業計画（案）

石澤理事より、前回の理事会に引き続き、2022 年度事業計画（案）に係る相談があった。協議した結果、各委員会からの申請内容を再度確認したうえで次回の理事会で最終的な確認を行い、第 13 回臨時社員総会に諮ることとなった。

(3) 第 13 回臨時社員総会の代替開催に係る検討

石澤理事より、第 31 回年会が完全 Web 開催に変更になったことを踏まえ、第 13 回臨時社員総会の代替開催計画が提案された。協議した結果、12 月 4 日（土）に本学会会議室において、成立要件を充足する最小限の出席者をもって開催することとなった。なお、代議員には本総会への出席を求めずに、委任状又は議決権行使書のいずれかの提出を依頼することとした。

(4) 第 14 回定時社員総会の開催計画

石澤理事より、第 14 回定時社員総会の開催日程・形式に係る相談があった。本定時社員総会の開催時期となる 2022 年 3 月の感染状況が不透明ではあるが、新役員の選任決議が行われるため、当該決議後に新役員の顔が見える運営方法が望ましく、集合形式とするか或いはオンライン開催（Web 会議方式）とするかなどを協議した。今後、オンライン開催する場合の運営方法（業者委託を含む）を調査し、次回の理事会で再度協議することとした。

(5) 2021 年度学会賞表彰式の開催方針

武田理事より、第 31 回年会が完全 Web 開催に変更になったことを踏まえ、2021 年度学会賞表彰式の開催方針に係る相談があった。協議した結果、速やかに医療薬学誌に受賞者を掲載し会員に周知を図ること、年会のオンデマンド配信期間終了後一定期間にわたり学会 HP 上で受賞講演のオンデマンド配信を行うこととなった。

(6) 2022 年度予算（案）

崔理事より、前回の理事会に引き続き、2022 年度予算（案）に係る相談があった。協議した結果、次回の理事会で最終的な確認を行い、第 13 回臨時社員総会に諮ることとなった。

(7) 2020 年度、2021 年度医療薬学専門薬剤師制度の新規暫定認定

百瀬理事より、2021 年度専門薬剤師認定試験の合否判定結果に基づき、44 名（2020 年度申請者 33 名、2021 年度申請者 11 名）を医療薬学専門薬剤師（暫定）として認定することが説明された。協議した結果、了承された。

(8) 各専門薬剤師制度における他学会セミナーの認定に係る取り扱い

寺田理事より、本学会が認定する他団体のセミナーに関する取扱方法については、がん専門薬剤師と薬物療法専門薬剤師の両制度間で齟齬が見られる。今回、地域薬学ケア専門薬剤師制度の取扱いを新設するとともに、各制度間で可能な限り整合性を図るとともに、制度間で一部の単位の利用に互換性を持たせることとしたことが説明された。協議した結果、了承され、各制度の運用方法を本学会ホームページに掲示することとなった。

(9) 公益法人化等将来計画検討委員会の編成案

議長より、公益法人化等将来計画検討委員会の編成案が説明された。協議した結果、了承された。

(10) 2022-2023 年度役員候補者選挙に係る開票立会人の選任

石澤理事より、2022-2023 年度役員候補者選挙に係る開票立会人として吉光寺敏泰氏を選任したことが説明された。協議した結果、了承された。

(11) 各学会賞（医療薬学会、学術、奨励、Postdoctoral Award）の応募書式の改訂

武田副会頭より、各学会関連賞の選考委員会において多くの選考委員より意見があった事項を踏まえ、評価項目に合わせて応募書式を改訂することに係る説明があった。協議した結果、一部の評価項目を再考の必要性を求める意見があり、次回の理事会で検討を行うこととなった。

(12) 2022 年度各学会賞の募集

武田副会頭より、2022 年度の各学術関連賞受賞候補者の募集方針に係る説明された。協議した結果、了承された。

(13) 2022 年度医療薬学学術小委員会の募集、研究活動申請書の応募書式の改訂

齋藤（秀）理事より、2022 年度学術小委員会の設置に係る調査研究課題の募集概要が説明された。また、研究計画の内容を把握しやすくするために研究活動申請書の書式を改訂する説明があった。協議した結果、了承された。

(14) 創立 30 周年記念誌の作成・配布

山田副会頭より、本記念誌の作成費用が当初予算を上回る見通しとなったため、作成部数と有償配布の販売費用を再検証したことが説明された。協議した結果、作成部数は 1,000 部、販売価格は 1 冊 3,300 円とすることが了承された。

(15) 第 2 回臨床研究セミナーの開催方法と運営経費

事務局より、第 2 回臨床研究セミナーは、2022 年 4 月に東京都内に会場を設けるとともにオンライン（ライブ配信）併用によるハイブリッド方式として開催が計画されていること、その収支計画より支出額が収入を上回る見通しとなることが

説明された。協議した結果、開催方式を含めた開催計画は良いが、更なる多くの参加者が得られるよう充実したプログラムを企画すること、また充分な広報活動を行うことで参加者を増やし収支の改善を図るよう取り組むべきという意見があった。

(16) 年会費の遡及納入

山田副会頭より、前年度会費の遡及の嘆願 3 件についての説明があり、協議した結果、本嘆願を了承することとなった。

3. 報告事項

(1) 第 31 回年会の準備状況報告

齋藤第 31 回年会長より、同年会が完全 Web 開催に変更されたことについて、変更に至った経緯や Web 開催におけるスケジュールや配信方法等の運営方針等についての説明があった。

(2) メール審議による理事会審議の結果報告

事務局より、前回の理事会から当理事会が開催されるまでの間に、メールをもって理事会で審議された案件の概要と審議結果が報告された。

・2021 年度がん専門薬剤師研修施設の新規認定
・2020 年度がん専門薬剤師研修施設の更新追加認定
・第 32 回年会のメインテーマに係る意見伺い
・2021 年度専門薬剤師認定試験・第 5 回薬剤師生涯学習達成度確認試験の結果に係る再検討結果
・役員候補者選出規程の改正、理事及び監事候補者の立候補届出（様式）の変更
・第 31 回日本医療薬学会の開催方法（完全 Web 開催）への変更

上記の審議については、全て了承されたことが報告された。

(3) 公開シンポジウム開催報告

富岡理事より、第 81 回公開シンポジウム（宮崎県）及び第 82 回公開シンポジウム（広島県）に関する開催状況が報告された。

(4) 2021年度がん専門薬剤師集中教育講座（Web開催）開催計画

議長より、2021年度がん専門薬剤師集中教育講座のプログラムが報告された。

(5) 2021年度専門薬剤師認定取得のための薬物療法集中講義開催計画

石井理事より、2021年度専門薬剤師認定取得のための薬物療法集中講義のプログラムが報告された。

(6) 後援申請への回答

議長より、本学会への後援申請があった、日本学術会議 公開シンポジウム「地域共生社会における薬剤師像を発信する」の後援を承諾したことが報告された。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は 17 時 00 分に閉会を宣言し、解散した。